

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆世界の8月の気温が過去最高 EU機関、産業革命前から1.65度高く

・欧州連合（EU）の気象情報機関は10日、世界の8月の平均気温が16.96度と同月として過去最高だったと発表。海水温も高く、同機関は「気候変動が大気と海洋の双方に極端な現象を引き起こしている」と指摘。EU機関「コペルニクス気候変動サービス」によると、8月の地表の平均気温はこれまで最高だった23年8月と24年8月の16.82度を上回った。

◆「カレーライス物価」11カ月ぶりに350円下回る 帝国データ

・帝国データバンクは原材料や光熱費をもとに独自に試算した「カレーライス物価」が、7月平均で1食349円だったと発表。2025年8月以来11カ月ぶりに350円を下回った。カレーライス物価は総務省の小売物価統計調査をもとに原材料の肉やタマネギ、ジャガイモ、ニンジン、食用油、カレールウなどの価格水準調査、水道光熱費を加味し調理にかかる費用を算出。

◆75歳以上医療の現役世代負担、過去最大7.2兆円に 24年度

・厚生労働省は75歳以上の後期高齢者が加入する医療保険制度の2024年度の財政状況を公表。主に現役世代が担う交付金は7兆2246億円で、23年度から1.7%増えて過去最大。後期高齢者の人口増加が影響。保険給付費は17兆9900億円で前の年度から3.8%増。被保険者数は2039万人で50万人増。人口の多い団塊の世代が75歳に到達したため。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆マンション建築費指数、8月も上昇 空調関連が値上がり

・建設物価調査会が発表した8月の東京地区の建築費指数は、マンション（鉄筋コンクリート造）が前月比0.2%上昇し146.7。21カ月連続のプラスで過去最高を更新。オフィスビル（鉄骨造）が0.2%上昇し145.6、工場（同）も0.2%上昇し144.1。いずれも空調機器の機材費や施工費、基礎資材の鋼材の値上がりが大きく、下落した品目はなかった。

◆国交省、全国で改修のための建築基準法説明会を開催

・国土交通省は10月2日から、全国10会場で「建築物の改修に係る建築基準法のポイント説明会」を開催。2025年4月の建築基準法改正で、木造2階建て住宅でも大規模修繕・模様替の際は建築確認が必要になったことを受け、建基法の基本から建築物の改修における同法のポイントまでを通して解説する。講師は国土交通省担当官。

◆パナソニック、ウオーターサーバーに参入 浄水器60年の技術応用

・パナソニックはウオーターサーバーの定額利用サービスを10月1日に始めると発表。水道水をタンクに入れるだけで浄水し、温水と冷水を利用可能。浄水用カートリッジの交換は年1回と、通常の半分ほどの頻度で済む。水道水から80度以上の温水と10度以下の冷水が作れる。本体を利用者の自宅などに設置し、交換用カートリッジは年1回無償で定期配送。

《 注目商品 》

■アイカ、不燃化粧板に汚れが目立たないダークグレー

・アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト」シリーズの常備在庫品にダークグレー色を追加して販売開始。単色のメラミン化粧板や粘着剤付き化粧フィルム「オルティノ」と同色コーディネートが可能で、寸法安定性とコストに優れる不燃化粧板。



■ミラタップ、奥行き15cmのコンパクトな手洗器

・「ミニマムラグジュアリー」をコンセプトにした奥行き15cmのコンパクトな壁付け手洗器。玄関や廊下、寝室などのセカンド洗面として、限られたスペースにも設置可能。表面の艶を抑えたマットな質感が特長で、家具や内装と調和し、自然に空間に馴染むデザイン。



■荏原、「汚水用水中ポンプDKE型」

・異物が詰まりにくい構造（非閉塞構造）と高効率運転を両立した「汚水用水中ポンプDKE型」の国内販売を開始。独自の非閉塞構造によって異物の詰まりを抑制し、現場の作業負担・費用負担の軽減、また高効率運転によるコスト・環境負荷低減できる。

